

前回会議以降の変更点

	頁	変更箇所	変更前	変更後
①	1	6行目 ※以降表記統一	<u>一人暮らしの高齢者</u>	<u>ひとり暮らしの高齢者</u>
②	1	17行目 ※以降表記統一	地域における共生・支援・予防の <u>取組</u>	地域における共生・支援・予防の <u>取り組み</u>
③	2	7行目	「 <u>第2次瑞穂市総合計画</u> 」	「 <u>瑞穂市第2次総合計画</u> 」
④	6	「高齢者世帯数の推移」欄外	資料:国勢調査（各年 <u>9月末</u> 時点）	資料:国勢調査（各年 <u>10月1日</u> 時点）
⑤	18	「①運動器機能の低下」のコメント	<u>1割近く</u> となっています。	<u>約1割</u> となっています。
⑥	20	1行目 ※以降表記統一	① <u>手段的自立度</u> （IADL）	① <u>手段的日常生活動作</u> （IADL）
⑦	26	下から2行目	「 <u>認知症</u> への対応」	「 <u>認知症状</u> への対応」
⑧	36	14行目 ※以降表記統一	<u>全ての</u> 会・グループ等において	<u>すべての</u> 会・グループ等において
⑨	37	13行目	医療・介護サービスを受ける <u>事</u> ができる体制	医療・介護サービスを受ける <u>こと</u> ができる体制
⑩	39	2行目 ※以降表記統一	<u>人生の最後まで</u> 続けることができるよう、	<u>人生の最期</u> まで続けることができるよう、
⑪	39	6行目	持続可能性を確保する <u>うえ</u> でも、	持続可能性を確保する <u>上</u> でも、
⑫	41	下から8行目	また「共生」の基盤の <u>元</u> 、	また「共生」の基盤の <u>もと</u> 、
⑬	43	「すこやか健康診査」指標R8の受診率	●●	<u>45.0</u> ※パブコメ前に記入済
⑭	44	「特定歯科健診」指標R8の受診率	●●	<u>14.0</u> ※パブコメ前に記入済
⑮	44	「さわやか口腔健診」指標R8の受診率	●●	<u>9.7</u> ※パブコメ前に記入済
⑯	44	「高齢者の予防接種」の内容中	高齢者の感染症の発症 <u>および</u> 重症化予防のため、	高齢者の感染症の発症 <u>及び</u> 重症化予防のため、

	頁	変更箇所	変更前	変更後
⑰	49	「瑞穂大学（健幸学部）」	<u>おおむね 60 歳以上の人を対象に、ココロかさなる CCN センター（総合センター）において瑞穂大学寿学部健幸学部として、月 1、2 回程度の講座と年 1 回の社会見学を行います。</u>	<u>概ね 60 歳以上の人を対象に、ココロかさなる CCN センター（総合センター）において瑞穂大学健幸学部として、月 1、2 回程度の講座と年 1 回の社会見学を行います。</u>
⑱	49	「瑞穂大学（脳力活性学部）」	<u>瑞穂大学脳力活性学部</u> <u>「おじいちゃん・おばあちゃんも学校へ行く」</u>	<u>瑞穂大学（脳力活性学部）</u>
⑲	49	「瑞穂大学（脳力活性学部）」	<u>巢南公民館内のふれあいホールを会場として、国語、算数、音楽や図工等の学習を行います。</u>	<u>概ね 60 歳以上の人を対象に、巢南公民館内のふれあいホールにおいて瑞穂大学脳力活性学部として、国語、算数、音楽や図工等の学習を行います。</u>
⑳	50	下から 3 行目	○ <u>地域包括支援センターの業務負担軽減と質の確保、体制整備を推進するにあたり、機能拡充のためのランチ設置等、地域のニーズを把握しながら検討します。</u>	○ <u>地域包括支援センターの業務負担軽減と質の確保、体制整備を推進するにあたり、機能拡充のためのランチ（住民の利便性を考慮し、地域の住民から相談を受け付ける窓口）の設置等、地域のニーズを把握しながら検討します。</u> <small>※パブコメ前に記入済</small>
㉑	63	「生活管理指導短期宿泊事業」中 ※以降表記統一	身体上又は精神上の <u>障害</u> があるもの等が、	身体上又は精神上の <u>障がい</u> があるもの等が、
㉒	77	「団塊の世代」の解説中	団塊の世代は約 800 万人おり、 <u>平成 14～16 年の出生数約 340 万人に比べても、人口構成上突出した世代となっています。</u>	団塊の世代は約 800 万人おり、 <u>人口構成上突出した世代となっています。</u>